

アグリテックコンテスト ファイナルデモデイ登壇者決定！当日は学生部門の提案も発表

豊橋市は、令和 4 年度から「TOYOHASHI AGRI MEETUP（豊橋アグリミートアップ）」を進め、「未来の農をつくる」をテーマに、農業課題を解決する提案を全国から募集するアグリテックコンテストを開催しています。4 回目となる今回は、一般部門に加えて学生部門も実施します。

【一般部門】

60 社（65 件）の提案の中から、市内農業者とのマッチングの可能性などを基準に審査を行い、7 社をファイナリストとして選定しました。

ファイナリストは、令和 8 年 1 月 27 日に開催するファイナルデモデイでプレゼンテーションを行い、賞金総額 1,000 万円（実証実験や開発に充てられる支援金）の獲得を目指します。

※過去の応募社数 令和 6 年度 68 社、令和 5 年度 52 社、令和 4 年度 33 社

ポイント 市内農業者との共創が期待される 7 社のアグリテック企業が登壇します！

＜一般部門 登壇企業一覧＞

企業名（所在地）	提案概要	解決する農業課題
株式会社いと （神奈川県横浜市）	目に見えないほどの微細な気泡を作る装置と独自配合の有機活性乳酸を組み合わせ、カビや病気の発生率を低減する生産システムを導入	酷暑による苗づくり不良や、カビなどによる収穫不良の改善
株式会社栄農人 （長野県諏訪郡富士見町）	ブロッコリーの生産量・品質向上を実現する栽培・収穫環境の整備支援	ブロッコリーの可食部肥大と収穫機を用いた省力化
株式会社きゅうりト マトなすび （東京都文京区）	AI 技術や画像認識技術を用いて、病気害虫発生を自動で検知・診断し、勘と経験に頼らない早期発見を実現	病虫害管理の人手不足・経験依存の改善
そらむらぶず Solum Labs （東京都新宿区）	作業手順や知識を AI に学習させ、作業判断に必要となる情報を提案させることで、新規就労者の育成や管理者負担の軽減を実現	新規就労者の育成や管理者負担の軽減
株式会社ハタケホッ トケ （長野県塩尻市）	自動走行で初期除草と土壌攪拌を行う水田除草ロボットを地域で共同利用し、負担の大きい除草作業を減らす。また、ロボットの運用を地域の仕事として広げる	水稲における除草作業の負担の軽減
株式会社HALO （愛知県名古屋市）	AI 卵選別システムとプロジェクションマッピングの技術で選別作業の簡素化と品質管理向上を実現	養鶏・養鶏農家の卵の選別における、品質管理の効率化・高度化
みるく Milk. 株式会社 （東京都港区）	微細な成分差や劣化を可視化できるカメラで、トマトやイチゴの腐敗を早期に見つけ、品質維持につなげる	トマト・イチゴ栽培における鮮度保持、生産効率の向上

【学生部門】

市内大学の学生等で構成する5グループが、地域農業の課題解決に向けた提案を発表します。入賞グループには、提案実現に向け、市が最大2年間の伴走支援を行うほか、現在クラウドファンディングで募集中の寄付金（上限200万円）を授与します。

※12月24日現在の寄付金額：170,000円

ポイント 学生部門のファイナルデモデイも同日開催！

＜学生部門 登壇グループ一覧＞

グループ名	メンバー構成	提案概要	解決する農業課題
えぬえーびー N A P	2名（愛知大学1名、静岡県立農業環境専門職大学1名）	消費者が応援したい農家とつながり、直販で農家を支える仕組み	農家のブランディング強化・収益向上
ぎぶらぶ GIVELOVE	2名（愛知大学1名、岐阜大学1名）	規格外農産物を使用した新しい和菓子ブランド	フードロスの削減 農家の収益向上
ぐろりんくらぼ GrowLink Lab	4名（豊橋技術科学大学3名、愛知大学1名）	センサーで光や温度を感知し、観葉植物自ら最適な環境へ移動できる装置	観葉植物の販売促進 管理の省力化
たはた 田畑のスタジオ	4名（豊橋技術科学大学1名、愛知大学1名、名古屋大学1名、南山大学1名）	農作業を手伝うことで音楽スタジオを無料で使える、若者が農業に出会う仕組み	人手の確保 若者の農業関心度向上
やわらか使節団	5名（豊橋技術科学大学5名）	経験の少ない人でも収穫のタイミングがわかる「装着型熟度判定装置」	人手の確保 収穫作業の負担軽減

審査員一覧

所属・肩書	氏名
豊橋市長	長坂 尚登
豊橋農業協同組合 代理理事組合長	伊藤 友之
豊橋技術科学大学 大学院 工学研究科機械工学系 教授 兼 先端農業・バイオリサーチセンター長	高山 弘太郎
kemuri ventures 株式会社 代表取締役 Founder&Managing Partner	岡田 博紀
株式会社 GRA 代表取締役 CEO	岩佐 大輝

※一般部門と学生部門の審査員は同一です。

ファイナルデモデイ概要

開催日時：令和8年1月27日（火）13:00～17:30（受付開始12:30～）

場 所：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT アートスペース（豊橋市西小田原町123番地）

参加対象：生産者、事業会社など農業領域のイノベーションに関心ある方ならどなたでも

参加人数：現地150名＋オンライン200名

内容及びスケジュール（予定）：以下

時間	内容
12時30分～	開場
13時00分～	開会
13時15分～	学生部門ファイナルデモデイ プレゼンテーション開始
13時55分～	一般部門ファイナルデモデイ プレゼンテーション開始
15時25分～	R6年度入賞企業と生産者による実証事例紹介
16時05分～	審査結果発表・表彰
16時30分～	ネットワーキング（交流会）

参考

■ TOYOHASHI AGRI MEETUP について

地域の農業関係者の課題や協業ニーズを踏まえ、地域の農業関係者と全国の技術や解決策を持つアグリテック企業等が共創し、地域農業の発展につながる新製品・サービスの開発を目指す取り組みです。

令和5年度にアグリテックコンテストで入賞した輝翠株式会社が、市内柿農家の協力を得て、作業負担軽減に向けた実証実験を行い、オフロード自律走行AIロボット「Adam（アダム）」の商品化に繋がるなど、複数の商品化事例が生まれています。

■ 各種リンク

- ・アグリテックコンテスト 一般部門 ホームページリンク

<https://toyohashi-agri-meetup.jp/contest>



- ・アグリテックコンテスト 学生部門 ホームページリンク

<https://toyohashi-agri-meetup.jp/student>



- ・「ふるさとチョイス ガバメントクラウドファンディング®」募集サイトリンク

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/4223>



- ・「ふるなびクラウドファンディング」募集サイトリンク ※12月25日から募集開始

<https://fcf.furunavi.jp/Project/Detail?projectid=969>



・登壇者・審査員一覧（TOYOHASHI AGRI MEETUP 特設ページ）

<https://toyohashi-agri-meetup.jp/demoday>



問合先 地域イノベーション推進室 室長補佐 小野（電話 0532-51-3155）

TOYOHASHI AGRI MEETUP

未来の農をつくる

新しい農業の在り方や、農業課題の解決に関心のある方は、是非ご参加ください！



アグリテックフレンドリーなまちを目指し、未来の農業をつくる！

アグリテックコンテスト ファイナルデモデイ

〈オンライン配信有〉

参加費無料

2026
1.27 TUE
13:00-17:30

穂の国とよはし芸術劇場PLAT
アールスペース

〔豊橋市西小田原町123番地〕

地域の農業課題解決に向け、
全国のアグリテック企業・市内大学の学生などから
提案を募集し、
審査を通過したファイナリストによる、
最終プレゼンを行います。
ゲスト審査員による審査を通じて、
受賞者を決定します。
受賞者は、地域の農業者等と連携し、
提案の実現を目指し実証実験に取り組みます。



今年度より
スタート！



アイデアと情熱を持った
学生の発表
学生部門

賞金総額
最大 **200万円**
(クラウドファンディングで募集)



全国のアグリテック企業が
農業の明るい未来を提案

一般部門

賞金
総額 **1,000万円**



定員

現地

150名

オンライン

200名

対象者

- 新しい農業の在り方や、農業課題の解決に関心のある生産者、JA、農業関係の会社、地域支援機関、学生 等
- 農業分野の研究やスタートアップのサービスに関心のある方

内容

審査を通過したファイナリスト(一般部門・学生部門)によるピッチ・表彰・交流会 など ※ファイナリストは2025年12月下旬までに公開予定です。

お申込みは
こちら



<https://toyohashi-agri-meetup.jp/demoday>



TOYOHASHI AGRI MEETUP

主催:豊橋市 地域イノベーション推進室 | 運営:デロイトトーマツ ベンチャーサポート株式会社 / 一般社団法人AgVentureLab | 連絡先:toyohashi-agri@tohatsu.co.jp